	大平面	面座形フラ	ランジ総	と手チェ	ニックシ	<u>- }</u>	,
工事名 工 区					<b>7</b> 0	年	月日
工区配管図 No.					規	場代理人主	任技術者
測 点 No.							
呼び径・管種			継手施工者(		)		
③ ① ————							
RF形							
2							
#u							
製 品 名および形状							
製 品 No.							
略図							
			<u> </u>				
継 手 No							
清	<b>?</b>						
①ボ ルト	数						
	トルク (N・m)						
②ガスケットの位	置						
③耐震補強金具(※注)	数						
	トルク (N・m)						
判	Ē						

判定基準 ①ボルトの締め付けトルク :表3の標準締め付けトルクによる。

②ガスケットの位置:フランジ面が平行にかたよりなく接合されていることおよびガスケットのずれがないこと。

③ボルトの締め付けトルク:ボルト径に対する所定のトルク以上。

その他 ※注:特別な理由(指示)がないものを除き、基本はフランジ継手部(RF-GF形:メタルタッチ)に設置するものとする。フランジ部(補修弁の1次側・2次側も含めて)に耐震補強金具(離脱防止性能3DkN)を設置するものとする。